

平成30年度の「トラック輸送における取引 環境・労働時間改善地方協議会」における コンサルティング事業について

トラック輸送における取引環境
・労働時間改善秋田県協議会

コンサルティング事業実施の背景

パイロット事業

☆平成28年度から平成29年度の2か年にわたりパイロット事業を実施。
(28年度48事業、29年度54事業実施)

【成果】

荷待ち時間の削減、荷役作業の削減など一定の成果。

パイロット事業の成果

☆平成30年度には、パイロット事業で得た成果を活用し、長時間労働改善ガイドラインを策定、その普及を通じ、トラック輸送における長時間労働改善策の定着を図る。

パイロット事業の課題

☆パイロット事業を実施して

- ・ 荷主の理解を得るためには、改善の費用対効果の「見える化」が必要。
- ・ 地方協議会によっては、パイロット事業で明らかになった課題に関して追加調査の必要性。

実施規模

☆地方運輸局ブロックごとに原則2集団のコンサルティング事業を実施

運輸局	該当都道府県	コンサルティング事業実施件数
北海道	北海道	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2
北陸信越	新潟、長野、富山、石川	2
中部	愛知、静岡、岐阜、三重、福井	2
近畿	大阪、滋賀、京都、奈良、兵庫、和歌山	2
中国	広島、岡山、鳥取、島根、山口	2
四国	香川、愛媛、高知、徳島	2
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	2
		計 17

※選定要件

- ①平成29年度までの取組結果から、新たに把握された課題や、これまで把握していたものの、具体的な取組に着手できなかった課題の改善に取り組むもの。
- ②平成29年までに把握し、これまで改善に取り組んだ課題のうち、継続性を持たせるなど、改善の定着を図る観点から、深掘りに取り組むもの。
- ③その他、地方協議会の個別の事情に応じ、コンサルティング事業を実施することが適切であると考えられるもの。

事業内容

☆対象集団は、発・着荷主、元請運送事業者及び下請運送事業者で構成。

☆問題点の把握及び改善方法の検討・提案等を行う。

☆改善策の提案については、費用対効果の見込みを提示し、荷主と運送事業者との費用負担面の協働を促す。

パイロット事業実施状況【28年度】

☆47都道府県において計48事業を実施。

☆荷種の内訳は、食料品11件、農産物7件、紙・パルプ4件、建設資材3件、機械製品3件、飲料2件、鮮魚2件、繊維製品2件、工業製品2件、その他12件となっており、全国で様々な荷種を扱った。

	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種
北海道	○	○	○	鮮魚
青森	○	○	○	農産物
岩手	○	○	—	木工製品
宮城	○	○	—	計器
秋田	○	○	—	紙・パルプ
山形	○	○	○	農産物
福島	○	○	○	農産物
茨城	○	○	—	コンクリート製品
栃木	○	○	—	食料品
群馬	○	○	—	農産物
埼玉	○	○	○	工業製品
千葉	○	○	—	食料品
東京	○	○	○	紙
神奈川	○	○	○	水道管
山梨	○	○	○	食料品
新潟	○	○	—	米菓
長野	○	○	—	食料品
富山	○	○	○	紙・パルプ
石川	○	○	—	建設資材
愛知	○	○	—	建設資材
静岡	○	○	○	フィルム・シート
	○	○	—	鮮魚
岐阜	○	○	○	食料品
三重	○	○	—	食料品

	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種
福井	○	○	—	繊維製品
大阪	○	○	○	食料品
京都	○	○	○	鋼材
兵庫	○	○	—	機械製品
滋賀	○	○	○	日用品
奈良	○	○	○	機械製品
和歌山	○	○	○	建設資材
広島	○	○	○	機械部品
鳥取	○	○	○	乳製品
島根	○	○	○	フードサービス機器
岡山	○	○	—	飲料
山口	○	○	○	繊維製品
徳島	○	○	○	紙
香川	○	○	○	食料品
愛媛	○	○	○	農産物
高知	○	○	○	食料品
福岡	○	○	○	工業製品
佐賀	○	○	—	食料品
長崎	○	○	○	食料品
熊本	○	○	—	農産物
大分	○	○	—	卵
宮崎	○	○	○	農産物
鹿児島	○	○	—	鶏肉
沖縄	○	○	○	飲料・雑貨

パイロット事業実施状況【29年度】

☆47都道府県において54対象集団が決定。

☆荷種の内訳は、食料品16件、農産物8件、建設資材7件、機械製品4件、ゴム製品2件、化学品2件、その他15件であり、全国で様々な荷種を扱う。

都道府県	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種
北海道	○	○	○	農産物
青森	○	○	○	農産物
岩手	○	○	○	食料品
宮城	○	○	○	食料品
秋田①	○	○	○	農産物
秋田②	○	○	—	紙・パルプ
山形	○	○	○	食料品
福島①	○	○	—	ゴム製品
福島②	○	○	○	食料品
茨城	○	○	—	浴槽等
栃木	○	○	○	農機具
群馬	○	○	○	自動車部品
埼玉	○	○	—	日用品
千葉	○	○	○	建設資材
東京①	○	○	○	食料品
東京②	○	○	○	建設資材
神奈川	○	○	○	化学品
山梨	○	○	○	食料品
新潟	○	○	○	農産物
長野	○	○	○	食料品
富山	○	○	—	化学品
石川①	○	○	○	オフィス製品
石川②	○	○	—	食料品
愛知①	○	○	○	建設資材
愛知②	○	○	○	食料品
静岡	○	○	○	ゴム製品
岐阜	○	○	○	窯業品
三重①	○	○	—	建設資材
三重②	○	○	—	食料品

都道府県	発荷主	運送事業者	着荷主	荷種
福井	○	○	—	金属製品
大阪	○	○	○	食料品
京都	○	○	○	印刷フィルム
兵庫	○	○	○	金属製品
滋賀	○	○	○	日用品
奈良	○	○	○	建設資材
和歌山①	○	○	○	機械製品
和歌山②	○	○	○	食料品
広島	○	○	○	食料品
鳥取	○	○	○	食料品、飼料
島根	○	○	○	集荷荷物
岡山	○	○	○	機械製品
山口	○	○	○	建設資材
徳島	○	○	○	農産物
香川	○	○	○	建設資材
愛媛	○	○	○	日用品
高知	○	○	—	農産品
福岡	○	○	—	家具
佐賀	○	○	—	機械製品
長崎	○	○	—	農産物
熊本	○	○	○	機械製品
大分	○	○	—	工業製品
宮崎	○	○	○	農産物
鹿児島	○	○	○	食料品
沖縄	○	○	○	食料品

平成28年度パイロット事業を踏まえた課題の例

平成28年度パイロット事業において抽出された主な課題・対策の例は以下の通り。

主な課題の例	主な対策の例	実施件数
①集荷・配送の経路等の見直しによる全体の拘束時間の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・集荷・荷卸し箇所数の削減 ・集荷と長距離輸送の分離 など 	15
②入出荷情報の事前提供による運行の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・積込み予定時間の事前連絡 ・出荷チェックリストの電子化による事前提供 など 	10
③荷待ち時間の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・予約受付システムの活用 ・予冷庫の活用による荷主による荷造りの前日への前倒し など 	8
④荷役作業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・バラ積みのパレット化 ・荷役場所の集約化、改修・拡張 ・積荷の配送先毎の仕分け など 	22
⑤附帯作業の改善 (検品、ピッキング等)	<ul style="list-style-type: none"> ・重複検品の廃止 ・ピッキングの方法や人員体制の見直し など 	14
⑥施設面の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・入出庫バースの増設 ・倉庫内の保管スペースを見直しによる荷役スペースの拡張 など 	13
⑦その他	<ul style="list-style-type: none"> ・GPS運行管理システムの活用 ・ドライバーごとの拘束時間の見える化による荷主との実態の共有 など 	7

ガイドライン(案)について

平成28年度、29年度のパイロット事業を基にしたガイドラインの骨子については、以下のとおりとしたい。

ガイドライン骨子(案)

1. はじめに
2. トラック事業を取り巻く状況
 - (1) ドライバー不足の現状、トラックドライバーの労働条件
 - (2) 労働時間を取りまく現状
3. 課題別の取組指針
 - ① 問題の原因、背景
 - ② 対策の紹介
 - ③ 改善事例(典型的な改善事例を1つないし2つ紹介)
4. 各地方運輸局等の問い合わせ先一覧